

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

事務局

〒567
茨木市駅前三丁目8-13
茨木市役所市長公室
自治推進課国際交流係内
☎22-8121 内線2143

協会報 第8号 1987年(昭和62年)4月25日 編集・発行 茨木市国際親善都市協会



華やかな舞台と息をのむ妙技を披露した黄梅劇と曲技



黄梅劇 曲技

公演に5,300人が酔う

昨年10月11日と12日の両日、茨木市と安慶市の友好都市締結1周年を記念して、「安慶市文化芸術友好団(周公順団長、37人)」を迎え、市民会館大ホールで、「黄梅劇」と「曲技」の公演を行いました。

「黄梅劇」は、「京劇」とルーツを同じくする中国の代表的な地方劇の一つで、日本初公演。

また、「曲技」は、2,000年の歴史を持ち、どちらも中国で広く一般大衆に親しまれ、会場を埋めた多くの市民は、きらびやかな歌劇と息をのむ妙技に盛大な拍手を送りました。

延べ約5,300人という観客の数に、本市の国際交流の底辺の広さを感じ、これからの活動に大きな力を与えてくれた公演でした。



はつらつプレーを見せてくれた少年野球チームとの交流試合

ミネアポリス
交市と流の

ますます輪を広げる文化・スポーツの交流

昨年、恒例となった8月のミ市少年野球チームの来茨に加え、7月には、ミ市で開催された「USA杯国際少年サッカー大会」に本市チームが日本から初参加。同時に訪問した文化交流訪問団は、ミ市民に茶華道、民謡・民舞、染織の指導を行いました。

また、7月下旬のミネアポリス水上祭には、加藤府議、木本議長(当時)、ミス茨木の志柿さんらが参加し、交流の輪を広げました。

秋には、ミネアポリス水上祭関係者ら3つの訪問団が来茨。ホームステイなどを通じて両市民の親善を深めました。



上田協会副会長宅での盆栽観賞をする少年野球チームの家族



フェスティバルでみこしをかつぐ選手

生花を指導する訪問団

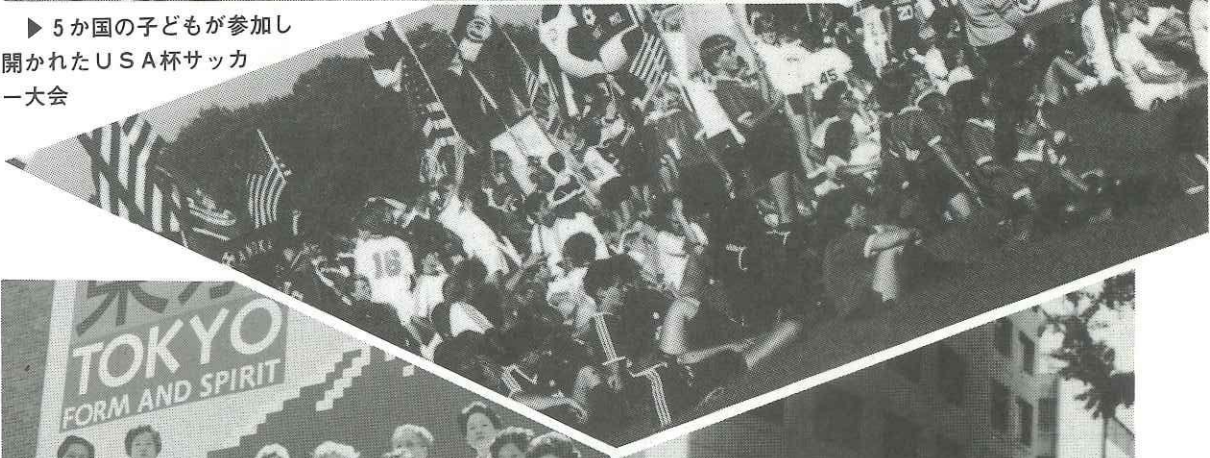


フレイザー市長も参加し開かれた茶会



◀ 巧みなプレーで会場をわかせたサッカーチーム

▶ 5か国の子どもが参加し開かれたUSA杯サッカー大会



ミ市「日本展」会場での記念撮影



御堂筋パレードに参加した水上祭提督と女王

安慶 交市 と 流④

言葉の壁越え両市の絆さらに固く

友好都市提携後初の訪問団となった6月の「安慶市農業経済視察団」は、農林業視察のほか、工場見学などを精力的に行いました。

10月の「安慶市文化芸術友好団」の公演は、美しい衣装と鍛えぬかれた芸と技で、言葉の壁を越えた大きな感動を与えました。

その興奮が冷めやらぬ間に安慶市を訪れた「茨木市議会友好訪中代表団」と「茨木市友好訪中代表団」は、熱烈歓迎を受け、両市の絆はさらに固く結ばれました。

また、8月には、本協会理事で市立南中学校教諭辻野良彦氏が、日本語指導のために派遣され、現在約30人の安慶市民を教えています。



農耕機具の実習をする農業経済視察団一行

友好交歓の集い・友好联欢晚会



市長から友好市民の証を受ける文化芸術友好団一行



市長・議長を表敬訪問する文化芸術友好団一行

▼60年の友好記念植樹の成長を見る友好訪中代表団一行



青少年宮での音楽授業視察(上)、花笠音頭で歓迎する同宮の子どもたち(中)



安慶師範大学で日本語を教える辻野氏



石油コンビナートを視察した友好訪中代表団一行



「永遠の友好と連帯」を貸し出し

本協会の茨木市・安慶市友好都市委員会委員長清野耕作氏が、昨年4月安慶市を訪問し、撮影された16ミリ映画のビデオ版(VHS)を市および本協会に寄贈いただきました。

「永遠の友好と連帯」の題名が付けられたこのビデオは、安慶市のシンボル・振風塔をはじめ、生活、産業、教育などの現状が38分にまとめられています。

貸し出しを希望されるかたは、協会事務局(市役所3階自治推進課)までお申し込みください。

茨木市における国際交流の足あと

— 第7号以降の経過 —

(1986年)

61.5 「姉妹都市ニュース」第7号発行

- 5 協会定期総会開催 (市役所大会議室)
- 6 第3回協会ゴルフコンペ開催 (茨木国際ゴルフ倶楽部)
- 6 安慶市農業経済視察団一行5人来茨
- 6 ミ市・茨木市姉妹都市委員会委員レイコ・イトウ・シェラムさん、ミ市民スーザン・ブラッドリーさん来茨
- 6 ミネソタ州上院議員メルビン・フレデリック夫妻来茨
- 6 協会副会長樋口義明氏ミ市訪問
- 7 少年サッカーチーム・文化交流訪問団一行40人ミ市訪問
- 7 ライオンズクラブ国際協会青少年交換留学生32人来茨
- 7 府議会議員(協会顧問)加藤法瑛氏、市議会議長(同)(当時)木本保平氏、ミス茨木志柿美穂さんほかと大阪21世紀協会代表団ミ市訪問。ミネアポリス水上祭に参加
- 8 ミ市少年野球チーム親善訪問団一行28人来茨
- 8 ミ市小学校教師ベギー・ドウクセンさん来茨
- 8 姉妹都市活動室会員岸田きよ子さん、薬丸絢子さん、友田芳子さん、寺田めぐみさんミ市訪問
- 8 協会理事辻野良彦氏日本語指導のため安慶市訪問(1年間滞在予定)
- 9 ミネアポリス水上祭一行11人来茨。御堂筋パレードに参加
- 10 安慶市文化芸術友好団一行37人来茨。「黄梅劇」と「曲技」を公演(市民会館大ホール)
- 10 ミ市生花家ジャニス・モズリーさん来茨
- 10 茨木市議会友好訪中代表団(木本議長ほか11人)と茨木市友好訪中代表団(山本助役ほか4人)安慶市訪問
- 10 ミネソタ・インターナショナル・センター一行9人来茨
- 11 ミネアポリス・ライオンズクラブ一行23人来茨
- 11 第3回協会英語スピーチ大会開催(福祉文化会館文化ホール)
- 11 安徽省九華山僧侶ほか4人来茨
- 11 ミ市・茨木市姉妹都市委員会前委員長ロジャー・クレイマー氏ほか2人来茨
- 11 米国中西部グループ・ミネソタ州代表団来阪

(1987年)

- 62.1 安徽省人民政府外事弁公室梁秉興氏、黄玉華さん来茨
- 1 ミ市少年野球チーム監督ガーリィ・ダウニング氏来茨。茨木市少年野球チームの派遣について打ち合せ
- 3 メイド・イン・USA・フェア・ミネソタ州代表団来茨



▲市長と握手するライオンズ交換留学生(上)、小学校を視察するミネソタ国際センター訪問団一行



▲ミ市ライオンズ、市長・議長表敬



▲安徽省九華山僧侶が来茨
▼ミネソタ州代表、市長表敬



大阪国際研修センター研修員と交流をする青少年活動室メンバー



英語力・国際感覚の向上に

「姉妹都市活動室」へどうぞ

国際交流のお手伝いをと活動を始めて満5年、英語力および国際感覚の向上をめざしている「姉妹都市活動室」は、より多くの人に参加してもらい、国際交流のすそ野を広げようと会員を募集しています。

例会は、月2回、福祉文化会館で開いています。

<例会>木曜会 第1木曜日 10時～12時

土曜会 第3土曜日 14時～16時

<会費(年額)>正会員 1,000円(18歳以上)

準会員 500円(中・高校生)

詳しくは、運営委員長岡田資子さん(電話22-9246)または協会事務局(市役所3階自治推進課)まで。

みんな
で楽しく英語を

活動室が会員を募集

歌やゲーム通し

英語学ぶ青少年活動室へ

昨年10月から、中学生・高校生が気軽に参加でき、楽しみながら英語を学ぶ「青少年活動室」を開いています。

南春日丘五丁目にある大阪国際研修センターの研修員を毎回ゲストに招き、話したり、歌ったり、ゲームをしたり、学校の授業とは一風変わった英語の勉強会です。

活動は、月1回(原則として第4日曜日午後2時から)福祉文化会館で行っています。

会費は無料、服装などは自由ですので、英語で話ができたらなあ……外国の人とお友達になれたらなあ……と思っている人は、友達をさそって気軽に参加して下さい。

詳しくは、協会事務局(市役所3階自治推進課)まで。



外人を招き英会話の向上に励む姉妹都市活動室



表彰を受ける優勝の奥野さん

英語スピーチ大会 奥野(中) 豊永(高)さんが優勝

“21世紀を担う青少年に国際感覚を身につけてもらおう”と始めた本協会の「英語スピーチ大会」も昨年11月3日に第3回目を迎え、会場を埋めた約300人の聴衆を前に、中学生15人、高校生13人が熱弁をふるいました。

日頃の成果を十二分に発揮し、回を重ねるごとにレベルアップする大会に、明日の国際交流の担い手が着実に育っている力強さを感じました。

姉妹都市協会

を

国際親善都市協会

に名称変更

新たに「茨木市・安慶市友好都市委員会」を設置スタート

市民各層の参加と協力のもとに姉妹都市活動を積極的に推進する母体として発足した本協会も、今年で8年目を迎えました。

その間、昭和55年10月22日に姉妹都市提携を結んだアメリカ・ミネアポリス市との交流は、人的交流を中心として年を追うごとに活発になり、また、昭和58年から始まった中国・安慶市との交流は、昭和60年10月5日の友好都市提携後、ますますその密度が高まってきています。

一方、西ドイツ・リュエック市をはじめ、姉妹・友好都市以外の都市との交流も、国際化の流れの中でその数を増しています。

本協会では、こうした状況のもと、時代的要請に応え、姉妹・友好都市に限らず、全世界の人々との交流をめざすため、会則を改正するとともに、名称を「茨木市国際親善都市協会」に変更しました。

また、安慶市との友好都市提携に伴い、両市間の民間交流を推進するため、「茨木市・安慶市友好都市委員会」を協会内に設置し、委員長に清野耕作氏、副委員長に河原政夫氏を選びました。

同委員会では、民間交流の糸口を探るため、委員を中心とした訪中団を5月に安慶市へ派遣することを予定しています。

そして、茨木市の国際交流活動情報をお届けするこの会報も、「姉妹・友好都市ニュース」として、今号から装いも新たに再出発いたします。

〈事務局だより〉

このたび、協会発足当初から事務局長をつとめてきました千葉邦英（茨木市市長公室長）が事務局総括に、その後任に岡幸雄（茨木市市長公室次長兼自治推進課長）が新しく事務局長にそれぞれ就任いたしました。今後ともみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

〈事務局からのお知らせ〉

本協会では、6月28日(日)午後2時と6時の2回、茨木市市民会館大ホールで「ミネソタ少年合唱団」の公演を行います。

入場は無料ですが、入場整理券が必要です。

詳しくは、6月1日発行の広報いばらき「お知らせ版」をご覧ください。



清野委員長

国際親善へあなたも協会会員に

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられるかたがたの入会を心からお待ちしています。

会員には、会員証をお渡するほか、協会報などによる本市国際交流活動情報の提供、会の催す姉妹・友好都市との交流行事ほか各種行事へのご案内などの便宜をはかります。

〈会費（年額）〉

個人会員（一般）	2,000円
（学生）	1,000円
団体・法人会員	1口 5,000円

〈申込先〉

協会事務局（市役所3階自治推進課
国際交流係）電話 22-8121 内線2143